

猿橋  
小学校

# 瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

## 希望の光

校長 磯部 裕之

春休みが終わり、4月7日、令和8年度がスタートしました。新しく着任された先生方をお迎えし、今年度初めての校歌を歌いました。

あけゆく世界 今ぞ時  
希望の光 仰ぎつつ

もう何回も聞いたはずの校歌でしたが、聞いているうちに「この子どもたち一人一人が『希望の光』なんだ」と頭の中に電撃が走りました。

それは、この猿橋小学校にとっての「希望の光」。また、それ以上にそれぞれの家庭において、この子どもたちはかけがえのない「希望の光」なのだと確信しました。

翌日、新1年生87名を迎えて入学式が行われました。その式の中で、緊張しながら式に臨む1年生の姿を見ながら、やはり「希望の光」という言葉が頭の中を駆け巡っていました。

この年度末から、テレビなどのメディアでは、他県での小学生の失踪事件が毎日報道されました。

ニュースや報道を見聞きするたびに、胸が痛みました。子どもたちが家を出て、家に帰るまで何が起こるか分からない。入学式では、「ただいま」を言うまで、油断しないで気を付けて帰ってほしいといった中身の話を1年生に話しました。

職員会議では、「私たちは、かけがえのない命を預かっている」という事を、全職員で再確認しました。学校職員だけではありません。年度始め、PTAの皆様が、学校玄関前や街頭指導に立ってくださいました。また、下町交番地区防犯連絡協議会の皆様は、子どもたちの登下校に合わせて、毎日所要所に立って、子どもたちの安全を見守ってくださっています。毎月12日には、民生委員の方が玄関前で子どもたちに声をかけてくださっています。4月23日・24日には、交通安全協会の皆さんが、1～4年生を対象に交通安全教室を開催してくださいました。

多くの方が、子どもたちの命と安全を守ってくださっています。そして、どの家庭でも子どもたちの「ただいま」のあいさつを毎日待っています。

子どもたちには、自分自身がかけがえのない存在であることを、これからも様々な機会をとらえて伝えていきたいと思ひます。そして、自分も周りの人も大切にできる人になっていけるよう、学校全体で取り組んでいきたいと思ひます。

令和8年度も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、学校職員みんなで、よりよい猿橋小学校となっていくよう努めてまいります。今年度も、どうぞよろしくお願ひ致します。

